

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週 報 No.1578

2004-05年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーを祝おう」 会長 グレン E. エステス・シニア
国際ロータリー 第2580地区
2004-05年度ガバナー 小堀 啓介



「元気、やる気、根気（三気）を

7月は識字向上月間です。

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「足元から地道な奉仕活動を」

第33代クラブ会長 清水 高彦

本日の例会

卓話 市役所 町づくり委員会

第1579回

例会

2004. 7. 21

次回例会案内【8月4日（水）】

全員クラブ協議会

第1578回例会報告

司会 芦川 征史 SAA副委員長

点 鐘

（清水 高彦 会長）

斉 唱

奉仕の理想

来客紹介

（清水 高彦 会長）

〇お客様



東大和RC

東村山RC

米山奨学生

会長

幹事

守重 勝弘 様

若林 和男様

當間 眞 様

呉 松 祥 様

会務報告

（清水 高彦 会長）

〇米山奨学会より

「2004学年度 米山奨学生名簿」が届きました。

〇多摩分区分担金納入のお願いが届いています。

〇伊奈平苑より盆踊りの案内を頂きました。

8月7日（土）18:00～

出席の人数連絡あり（出欠のハガキ）

幹事報告

（藤野 豊 幹事）

〇福生RCより事業計画書及び週報を頂きました。

委員会報告

〇立川RCへの表敬訪問について（石井 源一郎 直前会長）

波多野ガバナー補佐と親クラブである立川RCへ挨拶に行ってきました。

〇米山奨学生 呉松祥様

現在、東京医科歯科大学の4年生で、来年の4月に卒業の予定です。これからも、よろしくお願いします。

〇ゴルフ会より（網代 雅男 会員）

ゴルフ会の昨年度収支報告をゴルフ会員に配布しました。

7月20日に役員の引継ぎを行います。

出席報告

（比留間 重次 出席委員長）

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	27名	90.91%	最終例会につき100%

〇事前メーカー

波多野 稔 会員、石井 賢司 会員→ 東村山RC

峯岸 一郎 会員→ 国分寺RC

◇創立 1972年7月8日 ◇承認 1972年7月20日
◇スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎会長 清水 高彦 ◎幹事 藤野 豊
〇副会長 後藤 正次 〇副幹事 原田 友義
□会報雑誌委員長 原田 友義 副委員長 野島 征
委員 石井 源一郎 宮崎 茂夫

◇例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
◇クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

卓 話 「 創 立 記 念 卓 話 」

チャーターメンバー 見延 壽昭 会員



今日は、当クラブの創立記念月にちなんでということで、お話をいたします。

武蔵村山ロータリークラブが誕生いたしましたのが1972年でございます。今から32年前、昭和47年に創立総会がありまして、その明

くる年の1973年6月16日にチャーターナイトをしております。この一年間は、チャーターナイトに向かいました年であったと思います。

当時、32年前ですが、私は加園治助さんと峰岸幸吉さんにご推薦をいただいてこのクラブに入れていただきました。32年前の当時から今日おいでになるのは、田代純則さん、比留間昭三さん、波多野稔さん、そして私と、4人だけです。当時、武蔵村山ロータリークラブは、親クラブが立川ロータリークラブでありまして、その岩崎喜好さんが、特別代表ということで、このクラブが誕生しております。親クラブとして、立川ロータリークラブが誕生に関与し、かつ、各会員が大変ご尽力をいただいて、翌年の年度末に近い6月16日に武蔵村山ロータリークラブが、誕生しているわけでございます。

そのチャーターナイトに向かいまして、クラブのなかの皆さんは当然そうなんですが、藤野清重さんとコンビを組んであちこち回りました。当時は、非常にたくさんのクラブが誕生しておりました。そして、全国いろんなところから案内がきておまして、我々のクラブも、たとえば新所沢ですとか、志木ですとか、全員登録で参加しております。というのは、むこうへ行った分だけ、我々の方にも来ていただこうと、こういう心がございました。当時は、どのクラブにしましても、行った分だけ、お返しに参加する、ということが常識のような雰囲気がございます。ロータリークラブは、義理と人情の団体だという話がございます。そういう雰囲気も現在非常になくなってまいりまして、かなり当時と雰囲気が変わってきております。

後ほど、皆さんにお返ししますが、ここにございますのが、当時の認証状伝達式のプログラムでございます。この裏側には、当時所属しておりました、当クラブの会員の写真が載っております。また、お土産にダットサンの模型を全員に配ってくれました。これも、皆さんのお手元にお返しします。これは、当時のアルバムです。日産自動車のPRセンターを使いまして、かなり盛大に行なわれまして、当時のチャーターナイトの雰囲気というのがこのアルバムから読み取れると思いますので、これもお手元にお返しします。

1972年という年は、6月に田中角栄さんの日本列島改造論が出てまいりまして、7月に総理になり、9月には日中友好の調印をしまして、その明くる年の1973年になりますと1ドルが277円の相場制に移ったのが2月でございます。10月にイスラエルとエジプトの戦争が起きまして、オイルショックがおきております。

最初の武蔵村山ロータリークラブの予算が356万円です。今年の予算が897万円ですから、2.5倍くらいになっていきます。当時の会費が6万円、今が26万円で、4.3倍です。会員は、チャーターナイトの時、32名で、現在34名です。当時の例会場は、現在の商工会館と同じ場所ですが、当時は木造の2階建てでした。

当時、鈴木ガバナーでしたが、その年度の最初に生まれたクラブが、武蔵村山ロータリークラブです。ガバナー訪問の時に、鈴木ガバナーが、「ロータリークラブというのは、金持ちの昼飯会ではない。だけれども、週に1回くらい、みんなと顔をあわせながら食事をできるという、そういう余裕は持たないものだ。」と、おっしゃったのが非常に印象に残っております。

ロータリークラブが誕生して、その年度の末に近い6月16日にチャーターナイトが行われまして、その時の雰囲気を当時の会報の中から紹介いたします。

「登録数 718名、招待者 118名、立川RC 90名の予定」

「立川RCは、6月15日の例会は、16日 武蔵村山RC

認証状伝達式 全員参加をもって振替える」

「名札注文 1400、たすき 村山 75本、立川 90本」

「6月15日 13:00 武蔵スカイレーン 全員集合。」

14:00~21:30までリハーサル 4回の予定。」

「本クラブ 認証状伝達式 参加登録者数は6月13日 現在 1126名」

ロータリークラブに最近緊張感がなくなったなあ、という話をしたことがあります。もちろん、当時と現在とは時代背景も違いますし、皆さんの考え方も当然違ってきていると思いますけれども、しかし、昨年度、戸田一誠ガバナーが誕生いたしました。セントルイス宣言、その他、いろんなロータリーの原点に返ろうという考え方だったと思いますけれども、いろんなことをお書きになり、お話をされておりました。私は何に関しても、戸田さんのような方が出ていただいて、ロータリーというものを根本的に考え直さないといけないんじゃないかと思っております。

今、新しくチャーターナイトをしてクラブが誕生するという機会に恵まれることが非常に少なくなりました。誕生するときに、そのクラブの会員の皆様がお持ちになる感激やエネルギーを体験する機会が少なくなったことが一つ原因かなと思います。

それと、もう一つは、ロータリーが世界的に大きくなりすぎた。そのために、「なかよしクラブ」に近い形になったんじゃないかなあと思います。ロータリークラブはもう少し質素に原点に返って自分のクラブを大切にしたい、ロータリーライフというものを考えるのがいいんじゃないかなあと思っております。



以前のネームプレート



認証状伝達式アルバム



ニコニコBOX (比留間 孝司 親睦委員)

- 東京東大和RC 守重勝弘会長、若林和男幹事よりニコニコをいただきました。
- 東村山RC 當間眞会員⇒お世話になります。
- 清水高彦会員⇒東大和RC 会長 守重さん、幹事 若林さんありがとうございました。今年度、私共にも宜しくご指導下さい。

◆ 今回計 15,000円 累計149,000円